

議 事 録

報告事項	令和6年度第4回会津若松市地域公共交通会議
日 時	令和6年11月27日（水）10:00～11:00
場 所	文化センター 展示室兼会議室

○出席者

会議資料のとおり。

○次第及び内容

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

- （1） 議案第7号 会津若松市地域公共交通会議設置要綱及び幹事会設置規程の一部改正について

→質疑なく、原案のとおり決定。

- （2） 報告第6号 MyRide どこでもバス（AI オンデマンドバス）の実証運行に係る途中経過について

→質疑なく、報告終了。

- （3） 議案第8号 MyRide どこでもバス（AI オンデマンドバス）の本格運行について

【質疑】

（委員）

議案資料では運行区域が市内中心部となっているが、別紙資料2では、運行区域は東山の一部を縮小し、エリア外の乗降ポイントは今まで通りと理解したが、念のために確認しておきたい。

（事務局）

本格運行では東山エリアの一部（会津武家屋敷前より先）はご認識のとおり運行せず、運行エリア外の乗降ポイントとして、会津中央病院や会津大学などは今まで通り設定している。

（委員）

どこでもバスの利用実績の部分で、1日あたり40人程度と伺った。より高齢者や障がいのある方の利用を増やすために、電話での事前予約を可能としたり、代わりに予約を代行するような取組を行ってほしいと考えている。

（事務局）

さらに利用しやすくなるような取組は必要と考えるが、システムの仕様や費用面、体制面の課題もあり変えづらいところもあるが、会津バスと協議し、できるところは改善していきたい。

→質疑なく、原案のとおり決定。

- （4） その他

→特になし。

※裏面に続く

4. その他

【各交通事業者から運行状況等の共有】

（交通事業者 1）

路線バス運転手が不足しており、現在の状態が続けば、効率の悪い路線の廃止も考えなければいけなくなるが、その際は交通会議で十分に議論する必要があると考えている。また、近年の燃料費高騰の影響は引き続き大きいものがあることから、一定の支援があればありがたい。今年の7月からは「AIZU NORUCA」を導入しており、これまでより詳細に利用状況を把握できるようになったことから、路線再編の基礎資料にできるのでは、と期待している。キャッシュレス化については、今後、電子マネー（nanaco、WAON など）や QR 決済も導入していく予定である。

※AIZU NORUCA の利用は、現在会津バス管内のみに限定されているが、後は、福島交通管内で利用可能となり、福島交通の IC カードも会津管内で利用可能になる予定。

（交通事業者 2）

当社は貸切事業のみ行っているが、運転手不足が深刻化しており、社内で対応を検討している。

（交通事業者 3）

今年の9月から11月にかけては観光客利用が増えており、配車台数は増えている。泊食分離が進んだためか、宿から飲食店への外国人の利用が目立っている。運転手不足の対策としては、県タクシー協会で開催説明会を開催したり、高校へ赴き就職斡旋を行っている。ここ最近では、当社へ貨物業界の方数名から入社希望があり採用している。後は、東京都でバス・タクシーに限定した就職説明会を開催している例もあることから、そのような支援をいただければありがたい。

また、11月20日から二本松市でライドシェアの取組がスタートした。ライドシェアは、タクシー会社が一種免許の方に必要な講習を受けさせ運転手として雇用するもの（日本版ライドシェア）。このような取り組みが広がることで、運転手不足の解消につながれば、と考えている。

（交通事業者 4）

団体旅行客が戻ってきており、関西や北九州からの団体利用（バスで来て鉄道のちよい乗り）が多かった。外国人旅行客（台湾）が多い状況。

5. 閉 会

以 上